

NEW EDUCATION AND TRADITION



スローガン：つなく伝統 築こう未来

発行日：令和8年2月2日(月)

発行者：校長 吉岡 大司

「心の鬼を追い出し、春をつかむ」

校長 吉岡 大司

2月を迎え、いよいよ受験本番の時期となりました。3年生の皆さんは、ここまで積み上げてきた時間を胸に、目の前の一日一日を懸命に歩んでいると思います。今、不安になったり、緊張したりして、自信が揺らぐ瞬間があっても、それは弱さではありません。「本気でここまで来た」という証です。2月3日の節分には、「鬼は外、福は内」と豆をまきます。昔の人は、季節の変わり目に生まれやすい不安や心の乱れを「鬼」にたとえ、それを追い払って、新しい季節を迎えようとしてきました。皆さんの前にも、さまざまな鬼が現れます。「もう無理だ」とささやく弱気の鬼、「焦って空回りさせる」鬼、「周りと比べて落ち込ませる」鬼、「あとでいいや」と先延ばしにさせる鬼。けれど、その鬼は、皆さんの心の中にいるからこそ、皆さん自身の力で退治できます。

鬼の正体は、弱さではありません。「もっと良くなりたい」「合格したい」という願いの裏側に生まれるものです。受験は苦しく、そして、その苦しさを乗り越える経験が、人を大きくします。

ここから先に必要なのは、特別な才能ではないはず。必要なのは、「最後まで投げない」ことです。たとえ不安で胸がいっぱいの日があっても、今日やるべきことを淡々と積み重ねる。今日の一問や1ページ、復習をする。その小さな一歩が、確実に未来を動かします

サン・テグジュペリ著「星の王子さま」に、こんな場面があります。「砂漠が美しいのは、どこかに井戸をかくしているからだよ」。何も無いように見える場所にも、確かな光があり、希望がある。そして、そのあとに続く「本当に大切なものは目に見えない」という言葉は、今の皆さんにこそ響くのではないのでしょうか。点数や判定は目に見えます。しかし、目に見えない努力やねばり強さ、支えてくれた人への感謝。そうした力こそが、本番の皆さんの背中を押してくれます。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。受験期は、ご家庭でも心配や緊張が続くことと思います。それでも、家族からの「大丈夫だよ」という一言が、お子様の心を整える大きな力になります。子どもたちは、見えないところでご家族の支えに確かに励まされ、前へ進んでいます。

さて、今年から2年生の移動教室が、2月5日(木)から7日(土)まで、会津たかつえスキー場で実施されます。自然の中での挑戦や仲間との協力は、教室では得られない学びをもたらします。安全第一で、互いを思いやりながら、成長して戻ってきてほしいと願います。

1年生の皆さんも、先輩が受験に向かって踏ん張っている今こそ、自分の学びの土台を固める時期です。「当たり前のことを当たり前続ける」ことが、来年・再来年の自分を助けます。

3年生の皆さん。あと少しです。これまでの努力は、決して皆さんを裏切りません。

最後の1日まで、諦めずに積み重ねてください。春は必ず来ます。

そしてその春は、ただ待つて来るのではなく、皆さんが自分の手でつかみ取る春です。

まもなく、卒業の日も近づいてきます。卒業は「終わり」ではなく、新しい自分へ踏み出す「始まり」です。桜堤中で過ごした3年間の出来事や出会い、流した汗や涙、そのすべてが皆さんの背中を押す力になります。どうか胸を張って、次のステージへ進んでください。

桜堤中学校は、皆さんの挑戦を最後まで、そして、これからも、応援し続けます。